

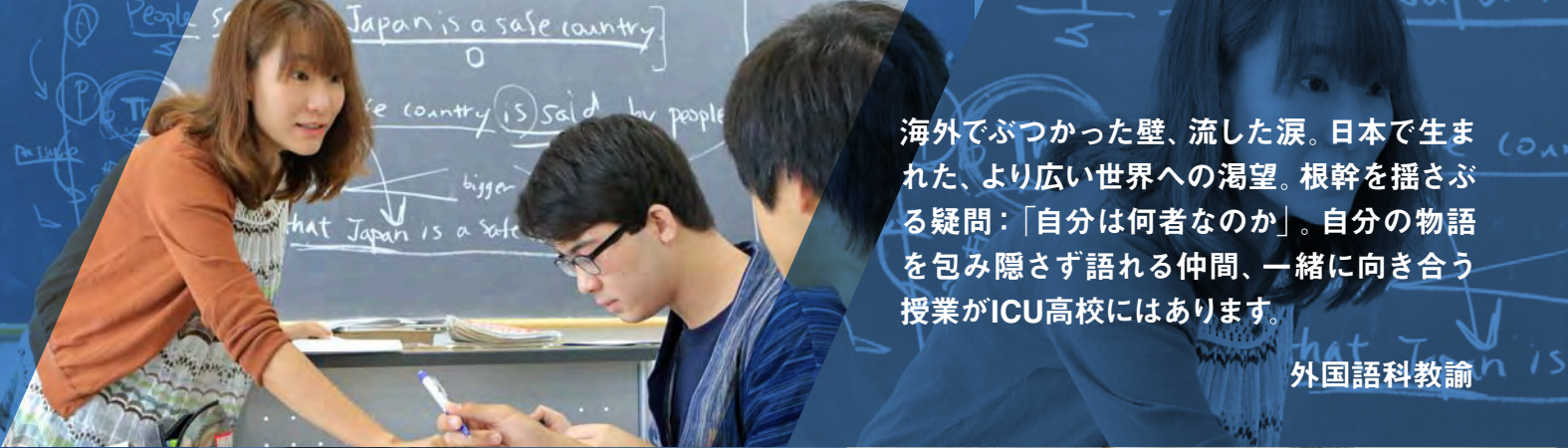


国際基督教大学高等学校

ICU
HS

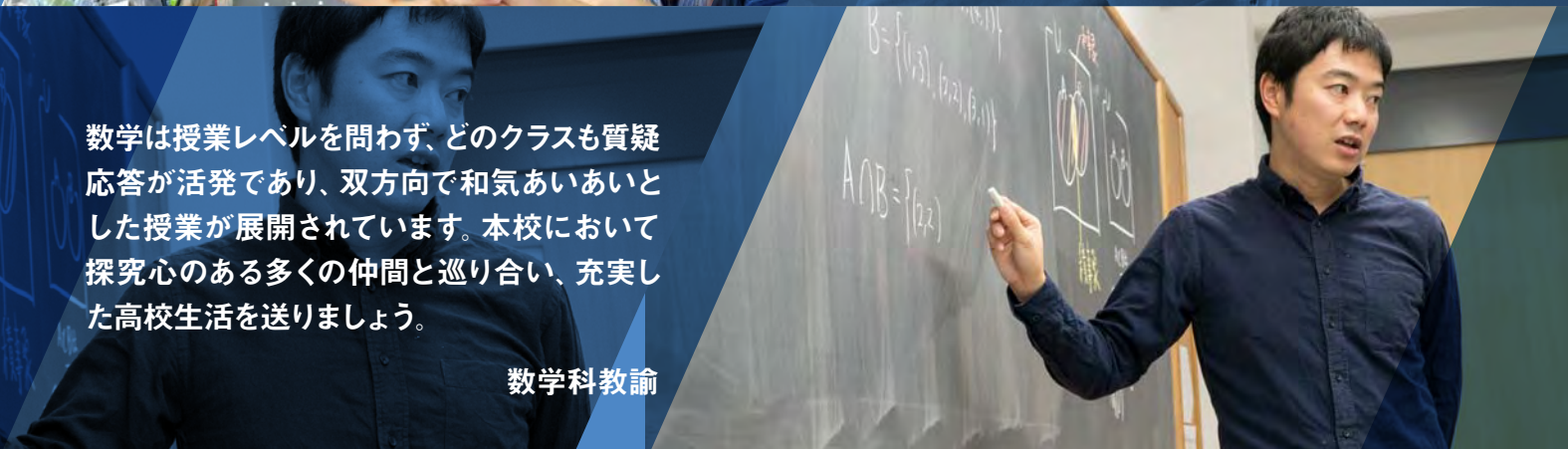
International
Christian
University
High School

Guidebook 2021



海外でぶつかった壁、流した涙。日本で生まれた、より広い世界への渴望。根幹を揺さぶる疑問：「自分は何者なのか」。自分の物語を包み隠さず語れる仲間、一緒に向き合う授業がICU高校にはあります。

外国語科教諭



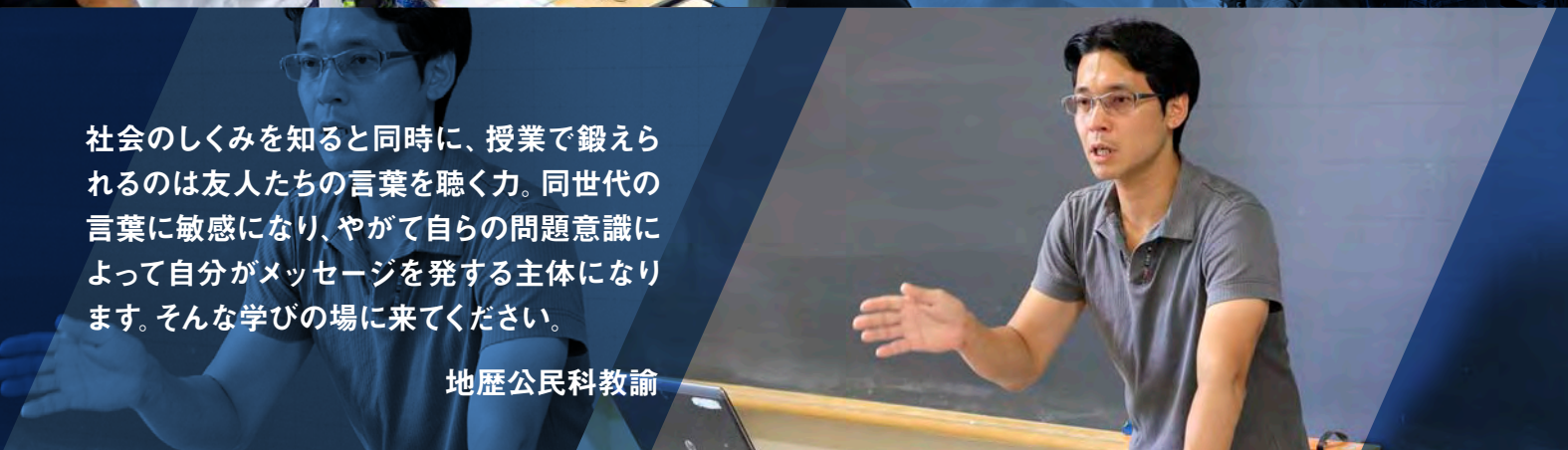
数学は授業レベルを問わず、どのクラスも質疑応答が活発であり、双方向で和気あいあいとした授業が展開されています。本校において探究心のある多くの仲間と巡り合い、充実した高校生活を送りましょう。

数学科教諭



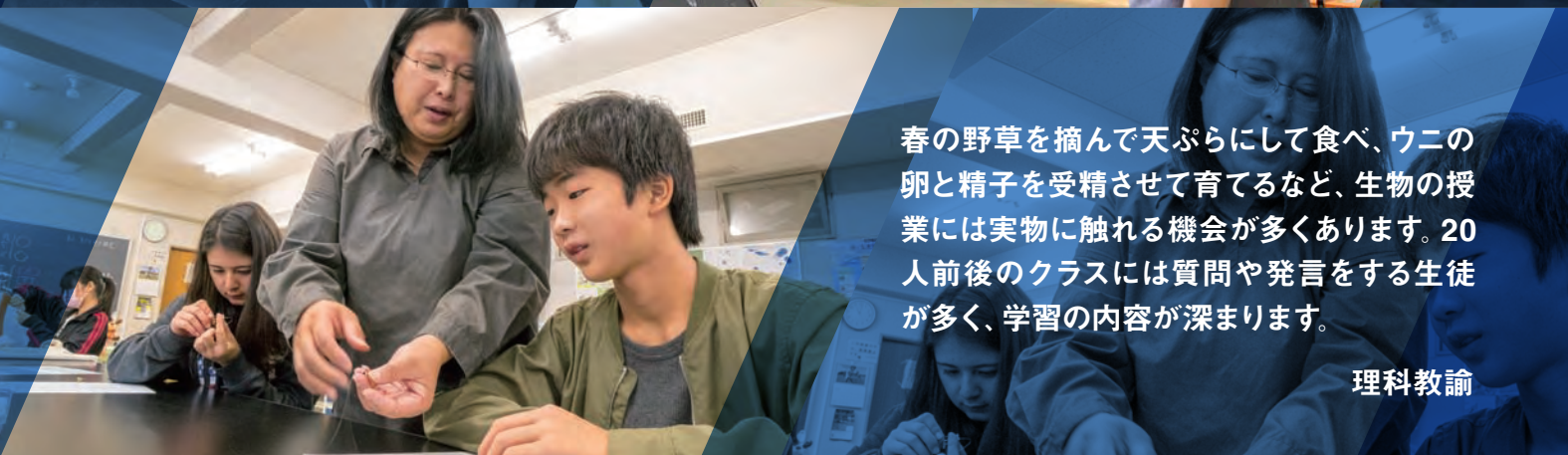
人間について、世界について、自分について考える。キリスト教概論の授業には、聖書の言葉との、また仲間との、新たな出会いがあります。一生をかけて考える大きな問いを、ICU高校で始めよう！

キリスト教科教諭



社会のしくみを知ると同時に、授業で鍛えられるのは友人たちの言葉を聴く力。同世代の言葉に敏感になり、やがて自らの問題意識によって自分がメッセージを発する主体になります。そんな学びの場に来てください。

地歴公民科教諭



春の野草を摘んで天ぷらにして食べ、ウニの卵と精子を受精させて育てるなど、生物の授業には実物に触れる機会が多くあります。20人前後のクラスには質問や発言をする生徒が多く、学習の内容が深まります。

理科教諭

ICUHS SCHOOL MISSION

ICU高校は1978年、日本で初めて帰国生徒の受け入れを目的とする高校として設立されました。以来40年間、世界の100を超える国や地域に在留した7千名を超える帰国生を受け入れてきました。1学年の定員は240名。160名の帰国生と80名の一般（国内）生が混ざり合い、自由な校風と豊かな自然環境のもと伸び伸びとすごしています。さまざまな価値観を包み込みながら世界の平和的発展に奉仕できる人間を育てるという教育理念のもと、本校では生徒たちが持っている多様性を尊重してきました。教員はさまざま

な背景を持つ生徒一人ひとりを理解し、長所を発見する。生徒も自分の持ち味に気づき、自信を持つ。そして、生徒一人ひとりに合った学びを探していきます。ICU高校は学校自体が多文化社会。教室が国際会議場です。生徒達は日々、他者への理解を深めていきます。他者を理解することは自分自身への気づき、また視野や世界の広がりへとつながります。そして、この他者理解を身につけた本校の卒業生は、世界各地また多彩な分野で活躍しています。

ICU高校がめざす教育



Check!
QRを読み込んで
Web ページに
アクセスしよう！

新しい出会いと発見

毎年世界中約40カ国からの帰国生と、日本全国からの国内生がICU高校で出会います。異なる文化のもとで生活してきた生徒たちは、共に学び、お互いの考え方や経験を理解し受けとめることで、異文化の壁を乗り越えて大きく成長します。せまい固定観念にとらわれず、自分が知らないことについて知ろうとする広い心と勇気を培うことで、「新しい価値観と文化」を発見できます。

Returnees from about 40 countries and students from Japanese junior high schools study together, encountering and accepting new values and cultural differences. Students develop their potential to become future leaders of the international community.

一人ひとりを大切にする教育

ICU高校は、異なるバックグラウンドを持つ生徒一人ひとりを尊重し、生徒の特性を活かす教育を行っています。生徒が主体的に参加して切磋琢磨できるように、少人数やレベル別クラスで密度の高い授業を行います。

ICU高校の主人公は「生徒」です。本校では、生徒たちが自発的に生き生きと学び、活動できる校風を大切にしています。

Our mission is to discover and develop the talents and ability of each student. We hope to provide an environment of academic excellence where students of various educational backgrounds can realize their potential to the full.

世界平和への貢献

第二次世界大戦直後、平和を願う人々の祈りのもと「世界平和に貢献する大学」として国際基督教大学（ICU）は創立されました。大学と同じ理想をもつICU高校は、生徒がキリスト教の福音が伝わる隣人への愛と奉仕のよろこびを知り、思いやりや共感の心を持ち、世界平和を達成するために貢献できる人となることを願っています。

ICU was established after the Second World War with the hopes and ideals of people praying for world peace. We hope that ICUHS students will understand the importance of tolerance and respect for people of all nations and will contribute towards world peace.



それぞれの可能性が ICU高校をつくる。

ICU高校の魅力は、個性豊かで努力家な、いろんな背景を持つ人達との出会いだと思います。アイデンティティという言葉の意味を、本当に実感できた気がします。私も変化を恐れずいろんなことに挑戦したい、妥協せずに努力しよう、と強く思うようになりました。やりたいことを自由にできる環境に囲まれて、毎日楽しいです！

オランダからの帰国生

入学当初はみんなの強烈な個性・自由すぎる発言に圧倒されました。でも、だからこそ周りに合わせず嘘のない自分でいられる。授業でも科目によってレベルが逆転するのでヒエラルキーを感じず、各自の得意分野で輝ける所が良いと思います。科目によって一緒に勉強する仲間も変わるので、いろんな人と仲良くなることができますよ。

UAE からの帰国生

人見知りな自分でもこの学校に順応できるか、初めは不安で一杯でした。いざ飛び込んでみると、それぞれ違う意見を持ちながらお互いを認め尊重し合い、どんな自分でもありのまま受け入れてくれる。自分に自信を持ち、他者を思いやる大切さを知ることができました。そんなICU高校で、あなたも一生の仲間と思い出を創ってみませんか。

台湾からの帰国生

生徒一人ひとりが異なるストーリーを持っていて、違うのが当たり前だからこそ互いを認め合い、多くの刺激を受けることができます。毎日が新鮮で、飽きることのない学校です。私は寮生ですが、世界各地から集まってきた個性豊かな仲間がいて、日々語らい励ましあえることは、学校生活をさらに楽しいものになっています。

メキシコからの帰国生

本当にいろんな背景を持った人達がいって、とても驚きました。最初は不安もありましたが、みんな寛容で居心地がいい。友達から日本では経験できない話を聞けたり、海外の文化に触れる講演やプログラムも多くて、自分の世界が大きく広がったことを感じます。周りから刺激を受け、「もっと自分も!」という気持ちになりましたね。

一般(国内)生

世界から、そして 世界へ。

Europe
104人

英国	37	ロシア	3	チェコ	1
ドイツ	28	オーストリア	2	ギリシャ	1
オランダ	8	ベルギー	2	アイルランド	1
フランス	7	デンマーク	2	ポーランド	1
スイス	5	スペイン	2	スウェーデン	1
イタリア	3				

Africa
6人

ケニア	2
エチオピア	1
エジプト	1
ギニア	1
タンザニア	1

Middle East
11人

アラブ首長国連邦	6
イラン	1
オマーン	1
カタール	1
サウジアラビア	1
トルコ	1

Asia
193人

中国	50
タイ	25
シンガポール	21
台湾	16
香港	15
インド	15
マレーシア	15
インドネシア	12
韓国	6
フィリピン	6
ベトナム	6
ミャンマー	2
カンボジア	1
バキスタン	1
東ティモール	1
ウズベキスタン	1

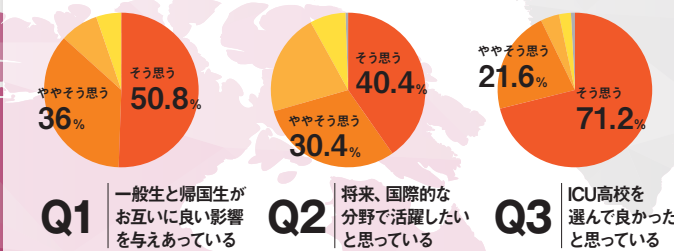
Japan
202人

日本 202

Oceania
13人

オーストラリア 13

2019年3月卒業生アンケート



North America
196人

米国 190
カナダ 6

Latin America
16人

ブラジル	6
メキシコ	6
チリ	1
コロンビア共和国	1
ドミニカ共和国	1
グアテマラ	1

【在校生の入学前の在留国・地域】
全53カ国（一般生を含む）

Total
741人
帰国生486名 一般生255名
(2020年3月現在)



世界で活躍する卒業生

諸江 美緒
[26期 / 一般生] 映像ディレクター
University of Southern California

帰国生に刺激され、米国留学の夢が現実に

ICU高校からアメリカの大学に進学し、現在は映画やテレビ制作の仕事をしています。中学生の頃から漠然とアメリカで学びたいと思っていましたが、その頃は見果てぬ夢でした。それが一変したのがICU高校での3年間です。入学した頃はいろんな外国語を自由に操る帰国生に驚き、劣等感を覚えたこともありましたが、次第に彼らのポジティブな姿勢に感化されて前向きに。古文や日本史の知識を褒められて勉強方法ががらりと変わりました。できないものは教えてもらい、頼られたことには全力で応える。授業もそれぞれ個性的で、学ぶことが楽しくてたまりません。そして帰国生の友人に背中を押されアメリカの大学受験に挑戦。たった3年で海外に飛び出す決断ができたのは、ICU高校で知的好奇心とチャレンジ精神を培ったおかげです。



Emmy賞授賞式会場にて

鶴薗 宏海
[30期 / 帰国生] テレビディレクター
筑波大学

培った愛と情熱を、番組制作に注いでいます

ICU高校の3年間は今の私を形づくる大切な種が芽吹いた期間です。その種とは「他者に愛を持って接する姿勢」です。ICU高校では世界中から多様なバックグラウンドを持つ生徒が集まり、お互いをリスペクトしています。日常的に相手を思いやる「愛」の空間に身を置いて、私自身も大きく変わりました。いま私は、日本放送協会（NHK）のディレクターとして自然番組「ダーウィンが来た！」を制作しています。世界中の動物や自然を調べ、撮影し、編集してテレビで放送する仕事です。番組を見る視聴者はそもそも多種多様です。さまざまな人の気持ちを考えないと見てもらえる番組は作れません。自分の番組を視聴者への“ラブレター”と捉え、取材先へのメールや、アナウンサーに読んでもらうコメント一つひとつに、ICU高校で培った愛と情熱を込めて制作しています。



「いたー！ メガネグマ！！」（本人右端）

志村 朋哉
[21期 / 一般生] 在米ジャーナリスト
ICU、University of Tennessee

グローバルスタンダードの学風により世界へ

小学校の一時期をアメリカで過ごした私は、帰国後、日本の中学に蔓延する同調圧力に馴染めず、“学校サバイバル”に陥るうちにいつしか心が乾いてきました。そんな私を救ってくれたのがICU高校の3年間です。世界中でいろいろな体験を経た生徒たちが集まるこの高校では、一人ひとりが違って当たり前。異なる価値観を尊重する環境のもとで自信を回復し、コミュニケーション力を培っていきました。ICU卒業後はアメリカの大学院を経て、現在は日米メディアのジャーナリストとして世界を飛び回っています。ICU高校の文化は日本では異色かもしれませんが、世界ではむしろスタンダード。世界基準を共有する先生と生徒に囲まれ、グローバルな視点を身につけたことが今につながっています。皆さんにもきっと他では得られない高校生活が待っているはずです。



メジャーリーグの試合を取材中

朝岡 さやか
[18期 / 一般生] ピアニスト・作曲家
ICU、桐朋学園大学、Royal Academy of Music

人生に必要な“直感力”を鍛えられました

小中学生の頃には、すでにピアニストとしてコンサート活動をしていましたが、音楽以外にも幅広い経験をしたいとICU高校に進学。世界中から帰国生が集まる環境にカルチャーショックを受け、刺激的で充実したスクールライフを送りました。その日々が恋しくなり大学も音大とのダブルスクールにしたほどです。卒業後はヨーロッパ各地で演奏活動をしながら映画音楽の学校にも行き、作曲活動も始めました。帰国した今は映画やCM音楽の作曲に演奏活動、音楽雑誌での連載などの仕事と子育てを両立しています。現代は既存の価値観がどんどん崩れゆく時代です。そんななか一度きりしかない自分の人生にとって大切なものを見極める「直感力」が、ますます求められています。ICUでの高校生活はそんな直感力を鍛えてくれた、かけがえのない時間でした。



英国ブリストル大聖堂での姉妹デュオコンサートにて（本人左端）

これからの社会で求められる力を先取りして学びます。

Global Learning Program



ICU高校は2014年度より5年間、文部科学省のスーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されました。そのSGHで得た多彩なプログラムを発展させ、現在Global Learning Program（GLP）を展開しています。ハワイPunahou高校のStudent Global Leadership Institute（SGLI）では世界中の高校生と議論を交わし、コロンビア大学スタディツアーズではアントレプレナーシップ



コロンビア大学スタディツアーズで国連本部へ

を体験。ベトナムスタディツアーズではストリートチルドレンや少数民族と交流し、アジア学院スタディツアーズでは農業体験を通して共生を学びます。国際基督教大学（ICU）や国際協力機関（JICA）とも提携し、さらに世界中で活躍するICU高校卒業生から国際社会の生の空気に触れる機会も与えられます。また多くの生徒が学校外のコンテストやプログラムに参加しています。



ベトナムスタディツアーズで現地の子どもたちと



11カ国から集まった生徒とハワイで2週間を過ごし、リーダーシップや道徳的勇気について学びました。そこでは毎日が「人生初」だらけ。このプログラムに参加しなければ決して手に入らない知識や経験、人とのつながりを得ることができました。辛いこともありましたが、一緒に乗り越えた仲間との関係はこれからも続くと思っています。

2019年SGLI参加



ICU高校では、生徒が主体となる学びの機会を数多く用意しています。たとえば「野外生物観察と野草の天ぷら」、「意見文執筆と相互評価」、「3年

生が先生になる！」など、下表にあるようなさまざまな課題を通して、実験・観察や見学、グループ・プレゼンテーションや討論、またリサーチやレポート作成など、生徒が実際に体感しクラスメイトと共に考え分かち合い、主体的に学ぶ機会を積極的に設けています。生徒たちは学校図書館やタブレット端末などを活用して、こうした課題に取り組めます。また授業中、生徒が活発に質問し、放課後、教員研究室を訪れて授業での疑問点を問うところも、本校の日常的な風景のひとつです。

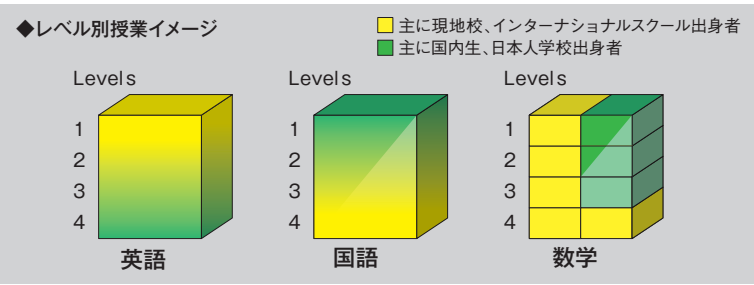


少人数レベル別授業

ICU高校では、全校生徒数741名に対し教員数は100名（2020年3月現在 非常勤を含む）、生徒対教員比は7.4：1と、きめ細かな対応を可能とする体制を整えています。各学年とも定員40名の6ホームルームに帰国生と一般生と一緒に所属し、共にキリスト教・家庭・情報などの授業を学びますが、英語・国語・

数学の授業は下図のように生徒の力や多様な学習歴に応じたレベル別少人数クラスで行い、生徒は自分の力に見合ったレベルで無理なく学習します（レベル別クラス分けは入学前のプレースメントテストで決めた後、各学期末または定期試験毎に移動します）。また地歴公民・理科・保健体育・芸術の授業は、進路や関心に応じた分野別

の少人数クラスで行います。2019年度第2学期の開講数は442クラス、1クラスあたりの平均履修者数は21.8名です。少人数教育は高コストを伴いますが、多様な教育背景を持つ帰国生の受け入れ校としては欠くことのできない制度、と本校は考えています。



幅広い進路選択



ICU高校生の進路選択は、難関国立大学からAO入試や海外大学、また分野も医薬・理工系から芸術系までと多岐にわたります。ICU高校では、そうした生徒のさまざまな要求に応える多彩なカリキュラムを用意しています。また3年生を対象に

「自由研究講座」を開講し、大学での学びへつながる導入教育も行っています。建学以来ICU高校は、少人数による主体的・探究的な学びを通して、これからの社会に必要な“考える力”を大学に先取りして教育してきました。2022年

度入学生からは新たに実施される学習指導要領に対応して、人生の土台となる確かな知識・技能に加え、未来を切り拓く思考力や表現力を養い、よりよい世界の実現のために共に力を尽くす心を育むカリキュラムを、さらに磨き上げていきます。

主体的・探究的な学びの取り組み（2019年度実施）

第1学年		第2学年		第3学年	
英語	Global Issues Presentation Project Collaborative International Exchange Website 「自分が境目を感じた経験」エッセイ 「広告批評」「映画批評」分析レポート	英語	Google Slides Presentation: World Heritage and Disasters Active Research and Video Peer Teaching Project 意見文執筆と相互評価	英語	Drama(英語)/The Globe Cinema: film making 「源氏物語」一場面の翻訳
国語	「羅生門」のグループ研究 ショートストーリー創作 歌物語の創作	国語	「源氏物語」を世界で紹介するパンフレット作成	世界史	戦争をなくすための9つの方法ディスカッション
世界史	コロンブス/ナポレオンに関するロールプレイ 帝国主義に関するプレゼンテーション	世界史	映画「アラジン」の時代・地域の考察レポート	日本史	地図くらべ：江戸の古地図と現代の地図
数学	「式の計算」「背理法」グループ学習 途中経過の答案を比較する演習課題	日本史	ICU キャンパスなどの戦前の軍事関連施設フィールドワーク	政治	平和主義に関する新聞投稿
生物	野外生物観察と野草の天ぷら 「DNA抽出」「胃腸・脳」「発酵」実験・観察・レポート	地理	消滅の危機にある言語に関する調査	経済	基本的な人権に関する判例レポート
保健	心肺蘇生法の実習	倫理	グループ・プレゼンテーションとディベート、スパイダー討論	数学	国政選挙ロールプレイ・ディスカッション・模擬投票
キリスト教	ルカによる福音書のイエスのたとえ話について創作スキル	数学	哲学対話：サイレント・ダイアログ	物理	経済に関する探究レポート
図書館	作家を招いてのワークショップ	物理	「模範解答」作成グループワーク	化学	「ベクトル解析」「微分幾何」発表(数学)/「極限」について考えるゼミ
		化学	「気柱の共鳴」「光の干渉」「摩擦力」実験とレポート	情報	「3年生が先生になる!」1・2年生対象の数学ゼミ
		生物	中和滴定の実験とレポートおよび結果の討論		英語の実験書を用いた「化学反応の速度」についての実験学習とレポート
		保健	「絶滅危惧種と環境問題」レポート		入試問題のグループ・プレゼンテーションと討論
		キリスト教	ブラインドウォーク体験		地域やインター校の小学生へプログラミング体験講座の提供
			テロリスト家族のスピーチ視聴と平和構築に関するディスカッション		ネットセキュリティ企業訪問とリスクマネジメントの意見交換
			キリスト教会の主日礼拝へ出席・レポート		「3年生が先生になる!」1年生対象のネットセキュリティ授業

第1学年 Grade 10		第2学年 Grade 11		第3学年 Grade 12	
科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
ホームルーム	1	ホームルーム	1	ホームルーム	1
総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1
キリスト教概論	1	キリスト教概論	1	キリスト教概論	1
国語総合	6	現代文A	2	政治・経済	2
世界史A	2	古典A	2	体育	2
数学I	3	倫理	2	コミュニケーション英語III	3
数学A	2	数学II	4	英語表現II	3
科学と人間生活	2	体育	3	社会と情報	2
生物基礎	2	保健	1	数学III/現代文A/古典A	1～5
体育	3	コミュニケーション英語II	3	数学II/英語特講/英語選択	
保健	1	英語表現II	3	物理/生物/理科演習	2～5
コミュニケーション英語I	4	音楽I/美術I/書道I	1	日本史演習/世界史演習/小論文	
英語表現I	2	日本史A/地理A	2	化学/世界史B/日本史B/古典A	1～4
家庭基礎	2	世界史B/日本史B/化学基礎	3	音楽II/美術II/理科演習/体育	1～3
音楽I/美術I/書道I (1科目を必修選択)	2	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎/生物	3	英語表現I/上級第二外国語/公民演習	
上級第二外国語(仏、独、西、中) ※希望者がいる場合開講	2	数学B/国語総合/日本語演習/基礎第二外国語/英語表現I	2	地理演習/国語総合/体育	2
		上級第二外国語(仏、独、西、中) ※希望者がいる場合開講	2	自由研究講座	1～2

自由研究講座

本校ならではの授業のひとつ。3年生に向けて開講しています。

講座一覧(例)「映像で見る世界の今」「ことば学」「作家の時間」「競技かるたと和歌の世界」「数学の論理」「AP Statistics」「実験化学」「山月記」を振る」「元号を読む」「課題探究講座」

ICU高校では、2022年度入学生より年次進行で実施する新しい教育課程を編成中です。学びのためのリテラシーを高め、多分野の学びを自身の知に総合し、知を深め、発信・共有してゆくためのカリキュラムを構想中です。

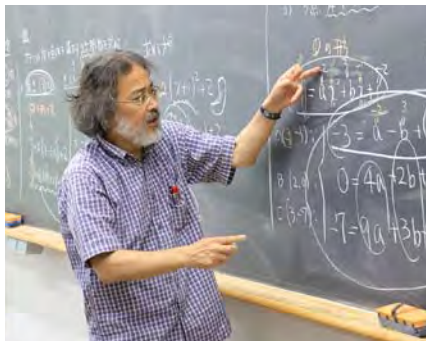
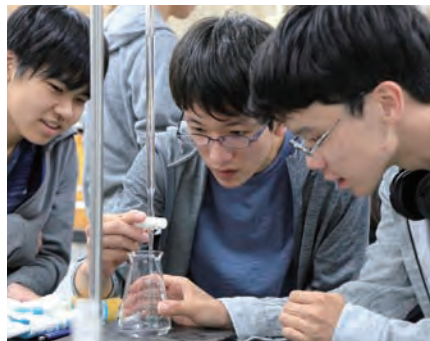
Check!
日英両語で「書く力」、
「読む力」を身につけます。



ライティングセンター

ライティングセンターは書くプロセスを支援する場所。アメリカの大学では一般的ですが、日本の高校としては初の試みとして2010年にスタートしました。ここでは、いわゆる「添削」は行いません。大学生や院生チューターとの対話を通して自分は何を書きたいか、どうしたらよく書けるか、生徒自身が気づくことを目指します。相談に持ち込まれる文章はレポート課題をはじめスピーチの原稿、大学の志望理由書、自作の小説など多種多様です。また図書館と連携してコピーライターや作家など書くことを仕事とする方々を招いて講演会を開いたり、将来について自分の希望を掘り下げるイベントも企画しています。2012年からは英語での対応もスタート。教科の枠を越えて生徒の書く力を育てます。





さまざまなアプローチを通して総合的な英語力を鍛え、伸ばします。

自然な会話から正確な文法、アカデミック・ライティング、芸術性の高い文学や演劇まで学びます。多様な背景を持つ生徒それぞれに合った英語レベルでの課題に取り組みます。

1年生は週6時間オールイングリッシュ

英語圏の帰国生向けのクラスは、英語圏の現地校の授業に相当する内容です。各レベルに応じた多様な文学作品をじっくり読み、ディスカッションを通して分析し、プレゼンテーションやエッセイの形にまとめます。作品に対する多様な解釈をクラスメイトと共有し、背景にある文化や時代・登場人物への理解を深める中で他者を理解する力も養います。

一般（国内）生や非英語圏の帰国生向けのクラスは、外国語としての英語（EFL）を学びます。主に多読や速読、リスニング、スピーキング、グループ・プレゼンテーション、基礎的なアカデミック・ライティングを含む学習内容です。中学校で身につけた英語に磨きをかけ、一つひとつの能力をより高いレベルへと引き上げることが目標とします。

1年生の6コマは全てネイティブ／バイリンガル教員による授業です。一切日本語を使わず英語を使う環境に慣れ、あらゆるトピックについて英語で学ぶ機会を設けています。

2年生から内外の大学進学を見すえた指導へ

2年生はネイティブ／バイリンガル教員の授業に加え、日本人教員の授業が行われ、英語をより正確に理解し、自分の考えを的確に表現するスキルを身につけます。多様な場所で英語を学んできた帰国生は、英文法の誤りを直すことに苦労します。本校では、母語である日本語を通して言葉のニュアンスや正確性についてしっかり学ぶことを大切にしています。国内生も同様に、より高度な英文法の知識を活用できるようになることと、大学受験やそれ以降の英語学習を見すえて行っています。2年生と3年生ではSATやTOEFL、メディア、ディベートなど、本校ならではのさまざまな選択科目があります。大学受験のみならず、グローバルな世界への理解を深める授業が開講されており、生徒は各自の関心と目的に合わせて選択します。

第二外国語：上級と基礎

第二外国語としてはフランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語の選択クラスがあります。各言語圏からの帰国生には高度な内容の「上級」クラスが全学年で、初心者には入門の「基礎」クラスが2年次に開講されます。

外国語科英語原書副教材例

第一学年	Level 1 Brave New World / Macbeth
	Level 2 Hamlet / The Great Gatsby
	Level 3 The Giver / The Call of the Wild and Selected Short Stories Listening Practice Through Dictation - Book 3 504 Absolutely Essential Words
	Level 1-3 Grammar Girl Presents the Ultimate Writing Guide
第二学年	Level 4 NorthStar Listening & Speaking 1 Grammar and Beyond 2 Billy Elliot (Penguin Reader) (Level 4 Advanced) Frankenstein (Oxford Bookworms) (Level 4 General)
	Level 1 Jazz / The Handmaid's Tale The Importance of Being Earnest The Time Of Your Life / The Tempest
	Level 2 Farewell To Manzanar / Flowers For Algernon
	Level 3 Interpreter of Maladies / The Perks Of Being A Wallflower Gregory's Girl
第三学年	Level 4 NorthStar Listening and Speaking 2 The Body (Penguin Reader) (Level 4 Advanced) Twelve Years a Slave (Scholastic Reader) (Level 4 General)
	College Prep The Official SAT Study Guide (AP + SAT/TOEFL College Prep) Cliffs Notes AP English Literature and Composition (AP College Prep) Reading Explorer 3 (Level 3-4 College Prep)
	Level 1 Plays in One Act
	Level 2 The Thing Around Your Neck / The Book Thief
第三学年	Level 3 Nineteen Eighty-Four / Never Let Me Go
	Level 4 NorthStar Listening & Speaking 3 / Charlotte's Web
	College Reading The Metamorphosis

AP English Literature and Composition

ICU High School has been given authorization by College Board to offer AP English Literature and Composition as one of its English courses. AP English Literature and Composition is open to students from Levels 1-3 and is held 5 hours per week in the 2nd Year. Students are screened by the English teachers before being admitted on to the course, which is conducted entirely in English. Classes focus on a selection of novels, plays, short stories and poetry from around the world. This is a challenging and demanding course designed for students who enjoy reading and discussing such literary works.



ことばと出会う。他者と出会う。

共に読み、語り合うことで、世界を広げていくこと。それがことばの力だと考えています。

4～5段階のレベル別少人数クラス

海外生活が長く入学時には日本語に自信のない生徒、古典を初めて学習する生徒も、着実に力を伸ばせるような授業をしています。

国語の基本「現代文」と「古典」

「現代文」では、1年生で小説・詩などの文学作品・平易な評論文読解のほか作文技術の基礎を学習。

2年生でやや難しい評論文や文学作品の読解のほか、自分の考えを論理的に表現する技術を学びます。「古典」では、1年生で古文および漢文の基本を学ぶことで古典に親しみます。2年生で古文の文法や古文常識、漢文の句法などを完成させ、古典作品の読解を深めます。

*文系の生徒は、より発展的な内容の「古典演習」も選択できます。

自分で考えながら読む力、書く力を伸ばす

3年次の国語はすべて選択科目となります。「現代文」では、さまざまな分野の論説文を読み、「小論文演習」では小論文を書く力を養います。また「古文」「漢文」では、まとまった文章を読むことでこれまで学んだ文法の知識を定着させ、作品の理解を深めます。理系志望者のための「理系国語」もあります。

数学

答えを求めるだけでなく、求める過程に重きを置きます。

数学は「考える」学問です。「考える」ことの楽しさ、知的な驚きや感動を大切にして、学問としての数学と格闘する姿勢を育てます。

1年生は生徒のバックグラウンドに応じたクラス分け

1年生の必修科目「数学Ⅰ・A」は、4つのレベルに分けて行います。レベル毎に設定された目標があり、関数や図形の基礎を確実に身につけることを目指すクラスから、たとえば最大公約数や倍数の問題を集合論の枠の中で扱うクラスまで、幅広く用意されています。また、学期ごとにレベルの移動があるので、意欲のある生徒の学習のモチベーションを保つことができます。

2年生は希望に応じたコース制

2年生必修「数学Ⅱ」は、3つのコースに分けて実施。文系・理数系・SATを用いる進路など、多様な志望にもとついて選択することができます。本校では数学の定期試験は、90分または110分です。それは、答えを求めるだけではなく、そこに至る過程が大切である、と考えるからです。全クラスで自分の考えを筋道立てて論理的に書くよう指導しています。

3年生は進路に応じた選択制

3年生では、理数系志望者は「数学Ⅲ」と「理数数学演習」を履修します。文系志望者は「文系数学演習」を選択できます。さらに余裕があれば、特別授業で高校数学の先にある世界にも触れることができます。

キリスト教

なぜ生きるのか。どのように生きるのか。
ICU 高校の精神的な柱であるキリスト教を知る。



われわれはどこから来たのか。われわれは何者か。われわれはどこへ行くのか。

週1時間、3年間にわたって行われる「キリスト教概論」の授業では、聖書の内容を捉え、また、内省・対話を通して、私たち人間、この世界、そして神の存在について考えます。また、他教科の授業とも連携し、キリスト教の視点から、多様な問題を多角的に、深く掘り下げ、私たちがどのように向き合うべきかを考えます。

3年間で学ぶ主なテーマ

◆ イエス・キリストの生涯	◆ 創世記と世界の始まり	◆ 折り・洗礼・聖餐	◆ 性のあり方	◆ 富と貧困
◆ 偽善と心の中の「罪」	◆ イスラエルの歴史	◆ キリスト教は他の宗教をどう考えるか	◆ いのちの始まり	◆ 差別と偏見
◆ イエスのたとえ話	◆ 律法と十戒	◆ 信じることと疑うこと	◆ 科学と信仰	◆ 人間の価値とは
◆ 十字架の贖罪と救い	◆ 終末論	◆ 教会とは何か	◆ 学歴・競争社会	◆ 死に向き合う
◆ キリストの復活			◆ 自由と責任	◆ 平和を実現する

地歴・公民

時間と空間を補助線に、世界中から集まる仲間と共に学びを深めます。

私たちはなぜ「社会」を学ぶのか？

自分のおへそばかり見つめていても自分はわかりません。周囲を見回してこそ自分がわかり、自分が他者に支えられた存在であることにも気づけます。遥かな時空の中で自分はどこに立ち、どこへ歩むか。平和のために粘り強く考え抜き、よりよき世界をめざして行動できる力を養います。

異文化体験を持つもの同士で学ぶ「社会科」の授業はICU高校独自です。

実際に当事国に住んでいた生徒たちの発言も交えた「地理」や「政経」、また異文化での違った視点を交換しながら進められる「歴史」や「倫理」は、ICU高校ならではの貴重な学びです。「価値観のゆらぎ」を経験しましょう。

グローバル社会の課題に取り組むための基礎学習・課題研究を行います。

1年生の「世界史A」では、近現代史を通じ今日の国際社会の成り立ちを学びます。2年生の「倫理」では、グループに分かれて生徒自身が選んだ現代社会の諸課題をリサーチし、哲学対話を経てプレゼンテーションを行います。3年生では、進路に応じた受験向けの演習授業も選択できます。京都、奈良をめぐる「歴史教室」も行っています。



約20人の少人数授業で1授業1実験をめざし、実験や観察を通して理論的な考察や自然への理解を深めます。

自然科学の楽しさを学ぶ〈物理・化学〉

物理では、一般的な物理現象を身近な道具を使って実験し、そこからわかる原理・法則について学ぶことで興味と理解を深めます。「自ら実験方法を考えて摩擦について調べる」などの課題実験に取り組み、検証する楽しさにも触れながら、科学的思考力も磨きます。化学では、身の回りの物質の構造や性質、化学反応と反応が起こるしくみを学習します。さまざまな実

験・観察を行いながら授業を展開し、実際に見たり触れたりすることを通して生徒たちの興味・関心を高め、化学現象を理解していきます。

自然科学のしくみや雄大さを知る〈生物・地学〉

生物では、動植物に実際に触れながら自然のしくみとその大切さを学びます。実験室での動植物の観察や実験はもちろん、広大なキャンパスにある緑豊かな自然を活用し、春には野草を摘んで天ぷらにしたり、秋

には木の実を集めて食べたりします。地学では、宇宙に浮かぶ一つの星である地球のことを科学的に学びます。実験や標本の観察で体感しながら、日本の特徴である地震・火山・気候のしくみを知り、防災や環境問題について考え、また宇宙における地球の位置を知ること地球人としての教養を高めます。



保健体育

広いグラウンドと大きな体育館で、思い切り身体を動かします。

多くの種目を経験することで、スポーツの楽しみを見つけれられます。

1、2年生では、男女別にサッカー、バスケットボール、ソフトボール、陸上競技をはじめとしたさまざまな種目を行います。3年生では、生涯スポーツの観点を踏まえ、水泳、ゴルフ、テニス、バドミントン、卓球などから選択して学びます。16人～30人の少人数で行うため、初めて

行う種目にも安心して参加することができます。また、一人ひとりの活動時間が十分に確保でき、思い切り身体を動かすことができます。さまざまな種目の特性に触れ、スポーツの楽しさを感じてください。

帰国生と国内生がともに学ぶ「保健」

講義やグループワーク、心肺蘇生法の実習などを通して、健康に関する理解を深め、自らの健康を管理してい

く力を育てます。過ごしてきた国や環境が違えば健康に対する考え方も異なります。「保健」ではレベルには分けずに、クラス全員で学ぶことでそれぞれの経験を共有します。

体育科主催の行事もあります。

ロードレース、スキー教室などの行事も行っています。

年間カレンダー

SCHOOL CALENDAR



4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September
-------------	-----------	------------	------------	--------------	-----------------

- | | | | | | |
|--|----------------|--|----------------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| ●入学式
●始業式
●イースター礼拝
●フレッシュマンリトリート (1年)
●遠足 (2年)
●沖縄修学旅行 (3年) | ●生徒総会
●防災訓練 | ●キリスト教週間
●ペンテコステ礼拝
●マルチイベント
●キリスト教講演会
●教育実習生を囲む会 | ●終業式
●バイブルワークキャンプ | ●クラブ合宿
●スタディツアー
●サマースクール (9月生) | ●始業式 (9年生編入学式)
●学校祭
●体育祭 |
|--|----------------|--|----------------------|--------------------------------------|--------------------------------|



10月 October	11月 November	12月 December	1月 January	2月 February	3月 March
----------------	-----------------	-----------------	---------------	----------------	-------------

- | | | | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|--|--------------------------|---------------------------------|---|
| ●キリスト教講演会
●校内模擬試験
●校外学習 | ●科目選択説明会
●生徒総会
●学習発表会 | ●クリスマス集会 (終業式)
●キャンドルライト礼拝
●キャロリング | ●新年集会 (始業式)
●キリスト教講演会 | ●ロードレース大会
●International Day | ●卒業式
●終業式
●スキー教室
●歴史教室 (隔年)
●ブレイズメントテスト (4月新入生) |
|-------------------------------|-----------------------------|--|--------------------------|---------------------------------|---|



クラブ活動

CLUB ACTIVITIES



運動部 SPORTS (2019年度現在)

男子バスケットボール部	チアリーディング部
女子バスケットボール部	ダンス部
男子テニス部	野球部 (硬式)
女子テニス部	陸上部
男子サッカー部	バレーボール部
女子サッカー部	ハンドボール部
バドミントン部	水泳部

文化部 CULTURE

演劇部	器楽部
コーラス部	オーケストラ部
ロック部	茶道部
写真部	英語ディベートクラブ



2019年度ICU高校生の活躍

クラブとしての活躍

- *バレーボール女子部 高体連春期リーグ 25 組 3 位
- *コーラス部 NHK 全国学校音楽コンクール東京都コンクール銅賞
- *陸上部 私立陸上競技会 1500m走 6 位
- *ダンス部 全国中学校・高等学校ダンスコンクール奨励賞

個人としての活躍

- *全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト朗読部門審査員特別賞
- *「漢語橋」世界中生中国語スピーチコンテスト世界大会出場
- *全国高校生創作コンテスト現代詩の部入賞
- *ピティナ・ピアノコンペティショングランプリ部門全国大会入賞
- *日本大学創立 130 周年高校生作文コンクール佳作
- *少年少女国連大使選抜
- *全国学芸サイエンスコンクール入選
- *World Scholars Cup イエール大学決勝大会出場
- *EGG DROP 甲子園デザイン賞
- *日本クラシック音楽コンクール優秀賞
- *キャリア甲子園準決勝出場
- *宣伝会議賞準グランプリ



水泳部は2018年新築の大学プールで、一人ひとり目標を立てて活動しています。ICU高校独特の「学年にとらわれないフラットな人間関係」は部活でもうまく働いていますし、新しい物事に挑戦するハードルも低く、兼部したり勉強と両立させるなど、自己のペースで部活動に打ち込めるのも、ICU高校の大きな魅力です。

水泳部長

SCHOOL DAY ICU 高校生の 1 日

8:00 頃 登校	8:30 朝のホームルーム	8:40 午前の授業	12:30 昼休み	13:20 午後の授業	15:10 帰りのホームルーム	15:30 放課後	18:00 下校 (10~3月は17:30)

快適なキャンパスライフを送れるように改修を進めています。



1 体育館 Gymnasium

バスケットコート2面分の汎用コート、屋内ランニングコース、トレーニング室のほか、屋上には多目的コートを完備しています。



2 グラウンド Athletic Fields

野球場、陸上トラック、サッカー場、ハンドボールコート、テニスコートがあり、全競技を同時に行うことができます。



4 多目的教室 Multi-purpose Hall

260人収容の講堂。講演会・イベントはもちろん、ダンスなどの部活動でも大活躍。



5 コンピュータールーム Computer Room

2016年全面改修。PC教室エリアとアクティブラーニングエリアからなります。



全校舎 Wi-Fi完備

生徒一人ひとりが学校のアカウントを持ち、ノート型PCやスマホで学校のどこからでもインターネットへ接続できるクラウドサービスを活用した学びを可能としています。

3 図書館 Library

授業や講演会を行うなど、読書の場を超えて学習情報センターとして進化し続ける図書館。和洋書3万冊超を所蔵し、データベースも自由に使えます。



6 中庭 Inner Court

3つの校舎棟に囲まれたのどかな中庭です。休息はもちろん、学校祭やハロウィンではイベントの会場にもなります。



8 生徒ラウンジ Student Lounge

グループ学習や歓談はもちろん、マルチイベントや講演会、学習発表会にも利用できる生徒ラウンジと、個人の勉強に集中できる自習室があります。2018年に改修されました。



8 自習室 Study Room



9 食堂 Cafeteria

320人収容。ボリューム満点の昼食はもちろん、寮生の朝夕食も提供しています。



10 スクールバス School Bus

JR中央線武蔵境駅南口と高校正門前を直通で結ぶスクールバスを運行しています。

大学現役合格率は 90%。ICU をはじめ海外大学へも進みます。



ICU高校生の大学現役合格率は約90%。ほぼ全員が大学へ進学します。進学先のおおよその内訳は、1/3が指定校推薦（定員80名）で隣接する国際基督教大学（ICU）教養学部へ、1/3が推薦・AO・書類選考入試などで理系を含む有名私立大学また海外の大学へ、残り1/3が一般入試で国公立大や私大（医歯薬学部や音大美大の芸術学部などを含む）へと進みます。ICU以外の指定校推薦は、慶應義塾大学法学部、早稲田大学基幹理工学部・創造理工学部、上智大学総合グローバル学部・理工学部、東京理科大学工学部・経営学部、立教大学GLAP、東京薬科大学薬学部、University of Queensland（豪州）ほか、約100の大学学部から得ています。ICU高校生の進路選択は、難関国立大学の学力入試から面接や論文執筆を伴う推薦・AO入試また海外進学と、多岐にわたります。本校では生徒の多彩な要求に応え、生徒一人ひとりが納得のいく進路を選ぶよう、海外を含む大学説明会などの入試情報の提供、模擬試験や個別面談の実施、大学生活や受験対策などを卒業生に聞く会、ネイティブ教員による海外大学への進路指導など、さまざまな機会を設けています。

国・公立大学合格数（既卒生含む）

大学名	2015	2016	2017	2018	2019
●東京大学	2	2	0	2	1
●京都大学	0	1	2	2	1
●一橋大学	1	3	2	2	4
●東京工業大学	1	1	2	1	0
●北海道大学	4	1	2	1	0
●東北大学	0	2	1	1	1
●筑波大学	1	0	1	0	1
●東京外国語大学	0	4	5	4	4
●東京農工大学	0	0	1	1	1
●電気通信大学	0	0	1	1	1
●千葉大学	0	4	1	1	1
●横浜国立大学	1	0	0	2	1
●金沢大学	0	1	0	1	1
●首都大学東京	0	2	1	1	0
その他の大学※	11	7	7	9	2
合計	21	28	26	29	19

※2019年その他大学: 静岡・神戸市立外国語大学

私立大学合格数（既卒生含む）

大学名	2015	2016	2017	2018	2019
●国際基督教大学	91	116	123	105	102
●上智大学	56	45	74	66	62
●慶應義塾大学	31	38	43	43	62
●早稲田大学	53	41	47	30	32
●明治大学	21	20	23	19	18
●青山学院大学	26	28	25	9	12
●立教大学	17	21	17	15	22
●東京理科大学	25	15	15	19	14
●法政大学	12	16	19	16	18
●中央大学	12	13	11	12	25
●日本大学	7	16	16	7	6
●北里大学	8	7	4	7	8
●津田塾大学	2	6	3	10	5
●東京女子大学	2	4	6	6	6
●成蹊大学	4	7	4	3	6
●芝浦工業大学	2	5	4	6	4
●東洋大学	3	6	4	2	6
その他の大学	81	90	80	85	106
合計	453	494	518	460	514

2019年度 医薬・理学・理工系大学学部合格状況（既卒生含む） Medical Colleges/Departments of Science/Technology

ICU高校では1/3〜1/4の生徒が理系の大学・学部に進学します。またICU教養学部でも自然科学を学ぶことができます。理系進学するには英語力（論文読解、論文記述）が必要ですので、本校で英語力を磨くことにより、大学・大学院での研究を着実に進めることができます。

国公立大学 National Universities

●筑波	医
●電気通信	情報理工
●東京	理科一類
●東北	工
●横浜国立	理工

私立大学 Private Universities

●青山学院	理工	●昭和薬科	薬	●東京電機	工	●法政	理工、デザイン工
●金沢医科	医	●上智	理工	●東京薬科	薬	●星薬科	薬
●北里	医、薬、海洋生命科学	●聖マリアンナ医科	医	●東京理科	理工、理、工	●武蔵野	工
●慶應義塾	理工	●中央	理工	●東邦	医	●明治	理工、総合数理、農
●国際医療福祉	医	●東海	海洋	●獨協医科	医	●早稲田	基幹理工、創造理工
●芝浦工業	工	●東京女子医科	医	●藤田医科	医		

海外大学合格状況（2015〜2019年度） Foreign Universities

ICU高校ではUniversity of Queensland（豪州）から指定校推薦を得ており、一般生も数多く進学しています。また本校から直接海外の大学へ進学する人もいますが、大学在学中や卒業後に海外の大学や大学院へ留学する卒業生も大勢います。

Australia Australian National University Griffith University Melbourne Trinity College University of Sydney Belgium Katholieke Universiteit Leuven Canada Camosun College Carleton University McMaster University Queen's University Simon Fraser University University of Alberta University of British Columbia University of Ottawa University of Western Ontario Hungary Debrecen Egyetem Israel Tel Aviv University Korea Yonsei University	New Zealand University of Auckland Singapore Yale-NUS College U.A.E. New York University Abu Dhabi U.K. Durham University King's College London Newcastle University Plymouth University Southampton Solent University University College London University of Bristol University of Edinburgh University of Exeter University of Glasgow University of London, Royal Holloway University of London, SOAS University of Manchester University of the Arts, London	U.S.A. Amherst College Bates College Baylor University Boston College Bryn Mawr College Carleton College Colby College College of Wooster De Anza College Georgetown University Grinnell College Hamlane University Hampshire College Laguna College of Art + Design Lakeland University Japan Macalester College Middlebury College New York University NIC International College in Japan Northwestern University Ohio Wesleyan University Pennsylvania State University Purdue University Santa Monica College Skidmore College Smith College Southwestern College St. Olaf College Temple University, Japan University at Buffalo University of California, Berkeley University of California, Irvine University of California, San Diego University of California, Santa Cruz University of Colorado, Boulder University of Hawaii University of Illinois Urbana-Champaign University of Minnesota University of Nebraska, Omaha University of Pittsburgh University of Virginia University of Wisconsin Madison Vanderbilt University Wellesley College
--	---	--

国際基督教大学(ICU) International Christian University

THE世界大学ランキング日本版2019私立大学1位のICUと、さらに連携を強めます。

ICU高校に隣接してキャンパスを構える国際基督教大学は、教養学部アーツ・サイエンス学科、一学部一学科のリベラルアーツ大学です。学生は文理にわたる30あまりのメジャー（専修分野）の中から、2年次の終わりにまでに自分のメジャーを決めます。2つの異なるメジャーを専攻する「ダブルメジャー」

や主専攻と副専攻を組み合わせる「メジャー・マイナー」も選べ、学生の積極的な学びへの挑戦を可能にします。教員1人あたりの学生数は19人。授業は少人数制で対話型が中心。日英両語を公用語とし、さまざまな背景を持った学生が個々の違いを尊重し高めあう環境があります。交換留学プログラ

ムをはじめ、目的や期間に応じた多様な留学プログラムがあり、また学士と修士の両学位を5年で取得できる「5年プログラム」も提供しています。

創学:1953年 学生数:3,023名（学部）
教員数:155名（2019年10月1日現在）
交換留学プログラム（24カ国74大学）
就職希望者の就職率:95.1%（2018年度）



入学試験や学費についてご説明します。

Check!



入試の種類

帰国生徒入試

保護者の勤務に帯同され、継続して1年6か月以上海外に在留し、帰国後5年以内、という本校が定めた帰国生徒の資格を認定された人を対象とした試験です（日本国籍または特別永住者の資格を有する人が対象となります）。

一般入試

主に国内で教育を受けた人を対象とした試験です。英語、国語、数学の3教科の学力試験（各教科100点）に、中学校3年生の調査書点90点（9教科各10点）を加えた390点満点で審査します。

国際生徒枠

詳細については、本校HPまたは募集要項をご覧ください。

9月編入学試験

本校の帰国生徒の資格を有する者で、海外の現地校・インターナショナルスクールから直接受験する人を対象とした試験です。募集人員は若干名の場合もありますが、毎年1年生、2年生の両方を募集しています。なお、一度日本の高校に編入学すると受験資格を失いますので、ご注意ください。

学力試験の対策

各教科の試験時間は70分です。どの教科もしっかりとした読解力と思考力が問われます。

過去の入試問題が書店で販売されていますので、参考にされることをお勧めします。各教科の出題のねらいと学習アドバイスは下記の通りです。

英語

語彙・語法・文法・作文・読解などいくつかの分野にわたる総合的な英語力を測ります。中学校で通常学習する範囲を超えた語彙や文法などの知識は必要ありません。また、リスニングテストはありません。設問は文章の内容理解や語句について問うものなどさまざまですが、単に語彙や文法事項を暗記する力ではなく、全体の内容とのつながりの中で個々の文が表す意味を読み取る力が試されます。また作文問題では、状況や気持ちを自然な英語で的確に表現する力が必要です。いずれの問題を解答する時も、英語を道具として使いつつ学ぶという意欲的な態度が求められます。対策としては、英文の量が多いので、すばやく文章の大意をつかむ力が鍵となるでしょう。一語ずつ和訳していくというよりも、分からない単語に出会ったら文脈の中でその意味を推測して読みこなしてください。副教材などを利用して、普段からまとまった量の文章を読み、内容を英語のまま理解していく学習を積み重ねることをお勧めします。

国語

試験では、現代文の文章題を2題出題します。古典の読解問題は出題しません。出題の基本方針は、「与えられた文章をその文章の表現そのものに即して読む力がどれだけあるか」を測るための問題をつくる、ということです。言い換えれば、受験生の皆さんは、「文章とともに考える姿勢と力」が問われる、ということになります。あくまでも皆さんの読む力・考える力を知りたいわけですから、それとは直接結びつかないような文学史や古典の知識また文法についての細かな知識だけを問うことは避けたい、と考えています。したがって対策としては、受験に際して特別な準備をするというよりも、日頃から新聞をはじめとするさまざまな内容の文章を誠実に読み・考える、という態度を身につけておいて欲しいと思います。文章を読んだり話を聞いたりする際、中途半端でわかった気になったり、自分勝手に理解して満足することなく、「文章とともに考える姿勢」を心がけてください。

数学

試験では、たとえば整数についての興味深い問題や、図形についての性質、関数の意外な問題への応用など、「一つのテーマについてさまざまな視点から検討を加えて掘り下げてゆく」長文の資料文を読んでもらいます。ここでは、中学校で学んだ知識をもとに、新たなテーマについて総合的に読み解く力が問われます。ちなみに、そこに登場する目新しい記号や概念については、必ず資料文中で十分に解説されます。既存の知識の有無ではなく、未知の課題を既存の材料をもとに意欲的に読み解く力を求めています。こうした力は、数学だけでなく、どの分野の学習でも必要となりますし、入試という緊張を強いられる場面でも、もの考える楽しさを味わって欲しい、と思います。上記の通り、本校の数学入試問題は、日本の一般的な高校の入試問題とはスタイルが大きく異なりますので、対策として、過去問を実際に解いてみることは参考になりますし、70分という試験時間の使い方の練習にもなるでしょう。

帰国生徒資格認定

帰国生徒入試を受験するには、必ず本校 HP から下記の期間に、帰国生徒資格認定の手続きを行ってください。

・2020年度9月編入学試験を受ける方は2020年3月から6月10日まで

・2021年度4月入学試験を受ける方は2020年5月から11月30日まで

帰国生徒入試の書類審査

中学3年間の成績、外国語検定試験結果、推薦状などを、総合的に審査するのが書類審査です。

受験生それぞれの海外在留歴と照らし合わせながら、その努力や適応の状況、言語の習得状況、成績の向上などを総合的に審査します。履修科目数やクラスのレベル、外国語検定試験結果なども重要な要素です。帰国生とはいっても、海外在留の時期や長さ、学校の種別、学習言語のちがいなど、さまざまです。一人ひとりの状況をよく理解した上で、提出された資料を慎重に審査します。渡航直後や帰国直後など、学習言語が変化した直後の成績では、減点しません。

帰国生徒入試の面接

面接は受験生1名に対し面接担当教員2名の形式です。面接時間は、試験の種類により5〜10分です。

面接は日本語で行われますが、日本語の能力で審査に不利になることはありません。内容は、知識や正答を求めるものではなく、受験生がどのような人物か、過去の海外経験や現状さらに入学後の生活や将来についてどのような考えを持っているかを聞き、本校にふさわしい生徒かどうかを審査します。海外生の皆さんは、ぜひ現在滞在している国での生活や通っている学校での学習に、前向きに取り組んでください。すでに帰国した皆さんは、滞在国の歴史や文化、そこでの生活についての考察を、読書や家族との対話などにより、さらにふりかえり深めることを心がけてください。なお推薦入試と9月編入学試験では、出願時に提出された「自己PRカード」の内容についても質問しますので、しっかりと自分で考え、自分の言葉で書いてください。

制服紹介

始業式や終業式など 学校が指定する日に着用します。紺のブレザーに黄色のネクタイがポイント。



女子はスラックスも選べます。

学校指定日以外の服装は自由です。

Check!



学費

本校の初年度納付金は、以下のとおりです。

授業料・施設費は学期毎の分割納付です。

※高等学校等就学支援金については、入学後にお知らせします。

初年度納付金: 総計 1,178,100円 (2020年度)

● 入学金 : 330,000円 (入学時のみ)

● 授業料 : 年額591,000円 (各学期197,000円)

● 施設費 : 年額180,000円 (各学期60,000円)

● 生徒会費 : 入会金500円 会費4,000円

● 父母の会費 : 入会金3,000円 会費15,600円 (3期分納)

● 学年会費 : 1年次54,000円

※上記の金額は変更となる場合があります。

奨学金制度

本校独自の国際基督教大学高等学校奨学金があります。

ICU高校には、高等学校等就学支援金、私立高校等授業料軽減助成金などの公的な支援・助成金のほか、東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県などの地方自治体が募集する貸付奨学金、団体による各種奨学金、また本校独自の「国際基督教大学高等学校奨学金」があります。国際基督教大学高等学校奨学金は、家計の急変により学業を継続することが困難かつ成績が一定水準を満たしている生徒を対象に、審査のうえ授業料3学期分を上限として給付するものです（返還の義務はありません）。

学寮

保護者が海外や遠隔地に住み、自宅からの通学が困難な生徒が、学校生活を円滑におくるための生活の場を提供しています。日本での生活経験が短い寮生も多いため、ご家庭の責任ある関わりを前提としています。入寮には、心身共に健康で、集団生活をおくる上で支障がないことが条件となります（2名同室）。長期休暇に加えて、原則として試験休みと学期中の週末は閉寮します。閉寮時や急な病気などの場合にすぐにかけつけられる地域に、保護者あるいは身元引受人が居住している必要があります。キャンパス内に男子寮2棟（定員50名）、女子寮3棟（定員74名）があります（現在改修中、2020年夏完成予定）。



学寮費 (2021年度)

● 入寮費 120,000円

● 寮費 (各学期 食費を除く) 188,000円

食事は食堂を利用できます。（朝夕2食:1,437円/日）

Student's Voice



やる時はやる、楽しむ時はとことん楽しむ切り替えができる人達と揉まれるところに、学寮の価値があると思います。掃除の仕方でも学べるし、学校祭の出し物では連帯感や責任感も得ることができます。入学と同時に先輩と同部屋になるので、そこでの交流や、そのつながりで友人ができて関係が広がるのも、すごくいいところです。

第二男子寮長

Information

学校見学会や学校説明会では、
各教科の教員が校内をご案内します。

Check!



学校祭

9月22日(火・祝)、23日(水) 10:00

帰国生徒学校見学会

7月14日(火) 10:00
8月15日(土) 10:00
8月22日(土) 10:00
3月25日(木) 14:00 [2021年]
4月 5日(月) 14:00 [2021年]

学校説明会 (帰国生徒・一般生徒合同)

10月10日(土) 14:30
11月 7日(土) 14:30

諸事情により予定を変更することがあります。
必ず事前に本校HPで最新情報をご確認ください。

一般生徒学校見学会

8月15日(土) 14:30
8月22日(土) 14:30

募集要項(願書)

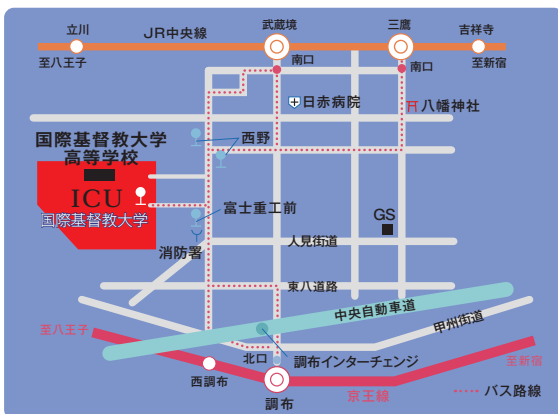
9月編入学試験用は4月より、4月入学試験用は6月より、
送料無料で配布します。

ご希望の方は本校HPよりお申し込みください。
本校事務室、学校見学会・学校説明会などでも配布します。

個別学校見学

海外在住など、やむをえず上記の行事にご参加にならない場合は、個別での見学も可能です。本校のHPにて見学可能日をご確認のうえ、HPよりお申し込みください。
なお授業・クラブ活動は原則として非公開です。

Check!



ICU高校へのアクセス

JR 中央線武蔵境駅(南口)より

- 小田急バス「国際基督教大学」行にて、終点(約12分)下車。徒歩6分
「吉祥寺駅」行または「狛江駅北口」行にて、西野(約10分)下車。徒歩8分

JR 中央線三鷹駅(南口)より

- 小田急バス「国際基督教大学」行にて終点(約20分)下車。徒歩6分

京王線調布駅(北口)より

- 小田急バス「武蔵境駅南口」行または鷹51系統「三鷹駅」行にて、
西野(約20分)下車。徒歩8分

*車両による入構は大学正門からとなります。

Check!



国際基督教大学(ICU)高等学校

INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY HIGH SCHOOL

〒184-8503 東京都小金井市東町1-1-1
1-1-1, Higashi-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-8503, JAPAN

E-mail: icuhs@icu.ac.jp Tel: 0422-33-3401 (代表)
E-mail: icuhs-rs@icu.ac.jp Tel: 0422-33-3407 (帰国生徒入試担当)

ICUHS

検索

<http://www.icu-h.ed.jp/>